



[各種指標と実績]

2019年度までの数値から、2020年度～2022年度は当社が名実ともにホワイト500を目指す・継続するためにホワイト500企業2021平均と比して弱い部分を分析し、重点項目を置いて進めてきました(下表赤字が重点項目)

- ・生活習慣病対策(運動施策、禁煙施策)
- ・リテラシー向上(教育)
- ・PDCAサイクルのための調査の活用(調査実施率の向上)

特に2020年度から実施を開始した調査については、意識調査とストレスチェック(50人未満の事業所含め全事業所)に年間600万ほどの投資をし、意識調査は年に2回、ストレスチェックは年1回実施をしております。特に意識調査においては多様な働き方、就業場所である従業員の状況を全部署共通の指標で見える化することにより、課題となる点の把握と優先順位付け、打ち手の検討と実施をし、次回調査結果でどのような結果が出るか、というPDCAサイクルを運用しています。97%以上の回答率があり極めて広く従業員をカバーしたデータとして活用しています。2021年度以降はエンゲージメントと他のスコアの相関をみるなど、分析についてもブラッシュアップをしてきました。

この調査結果を人財戦略の検討材料として活用していくことが経営会議で話されるなど、重要な位置づけとなっています。コロナ禍において店舗運営・営業を継続する使命がある業態のため、特に感染が拡大したシーズンには欠員補充のために所定外時間が増えているなど、負担が数値に表れている部分もありますが、肉体的・精神的にも負担の多い環境の中でも前向きに施策や調査に参加し、リテラシーをあげている/意見をあげる場として活用している状況が見受けられます。

運動施策においては、ウォーキングイベント参加者群と非参加者群それぞれにおける「フィジカルヘルス」「メンタルヘルス」の2項目(従業員の生産性(プレゼンティーズム)を測る指標として利用)について、2020年度から比較をすると、非参加者群に比べ、参加者の数値に上昇がみられた。また、コロナ禍による人員不足をはじめ複合的な要因で、全体としてマイナス傾向はあるが、このような厳しい状況の中でもいずれの項目も参加者群の方がマイナス幅が小さいことがわかりました。健康課題の改善に向けてユニオンと協同して実施をしている本イベントは、これからも継続し、参加者の増加による数値の底上げを図ってまいります。

禁煙施策では、2022年度から禁煙プログラムを新たに追加施策として投入しました。3カ月間保健師・ダイバーシティ推進課が伴走し、禁煙仲間と卒煙を目指すものです。本年度の卒煙者は計9名。

2023年度以降については2022年度までの自社及びホワイト500認定企業平均の数値を踏まえKPIを2025年向けに改めて設定し、重点項目としては下記を置きます。数値に現れる改善を目指して様々な施策を企画・実施してまいります。

- ・生活習慣病対策(運動習慣、特定保健指導/保健指導実施率、喫煙率)
- ・労働時間対策

また、当社の大きな特徴としては、健康経営と安全衛生の管轄部署がダイバーシティ推進課の1窓口であることが挙げられます。安全衛生委員会の事務局も管轄しており、特に労災については、多様な事業本部での発生案件についてリスク評価をし対策の横展開をして防止に努めていますが、従業員規模も大きいため意識の浸透は大きな課題です。情報・数値の収集について一元化されていることで「従業員がイキイキパフォーマンスを発揮できる」環境づくりという目指す姿に必要な両方の視点で施策や教育内容の検討・実施ができる体制であり、産業界や組合との連携もよりスムーズです。この特徴を活かして、これからも推進強化に努めてまいります。現状は労働安全衛生マネジメントシステム未導入ですが、今後は更なる強化のため導入を目指します。

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	KPI
						*2025年度まで3か年で達成
運動習慣者比率	17.5%	18.1%	30.3%	37.5%	集計中	24%
良好な睡眠比率	54.3%	55%	57%	57.1%	57.0%	59.3%
喫煙率	35.1%	35%	33.9%	31.9%	31.0%	24.5%
一次健診受診率	97.2%	100% *コロナ禍考慮	99.4%	100.0%	集計中	100%
高血圧未治療率	4.5%	4%	3.6%	4.2%	3.4%	2.7%
有所見者率	69.12%	72.91%	72.8%	72.7%	72.4%	72%台をキープ
適正体重維持者率 (BMI正常範囲率)	62.3%	63%	62.9%	62.0%	61.0%	62~63% をキープ
高血圧者率	17.25%	18.56%	20.0%	19.4%	19.5%	20%未満 をキープ
特定保健指導該当者数	786人	752人	869人	819人	819人	特定健診受診者数の 2割以内
保健指導参加率向上	実施無し	実施無し	37.9%	65.0%	集計中	80%
精密健診受診率	10.2%	8.4%	31%	72%	集計中	70.0%
平均月間総実労働時間	177h	170h	167h	172h	179.3h	171h (所定166h)
平均月間所定外労働時間	18h	15h	17h	19.8h	18.5h	17h未満
有休休暇取得率	36.2%	61.7%	69.2%	73.8%	63.8%	70.1%
有休取得日数	6日	8日	9.8日	10.5日	9.9日	11.7日
ストレスチェック受検率	50人未満実施無しのため比較対象外 (参考値83.4%)	89%	96.8%	95.6%	97.6%	97%以上
高ストレス事業本部のスコア改善 (DgS、生産)	50人未満実施無しのため比較対象外	DgS:23% 生産:25%	DgS22% 生産18%	DgS23.5 生産20.9 配置25.7	DgS22.3 生産19 配置22.7	全事業本部 20%未満
健康リテラシーの高い従業員比率	数値無	数値無	63%	68%	65%	80%

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	KPI
						*2025年度まで3か年で達成
女性管理職比率		9.1	10.1	11.2	12.1	1%/年以上向上
女性職場復帰率	85%	91%	92%	94%	95.4%	90%台をキープ
プレゼンティーズム フィジカルヘルス	-	2.87	2.83	2.85	2.87	3.5以上
プレゼンティーズム メンタルヘルス	-	2.75	2.75	2.74	2.81	3.5以上
絶対的プレゼンティーズム (WHO-HPQ) ※1	-	-	62.5点	53.4点	55.9点	58点
アブセンティーズム 平均3日/月以上欠勤の人数	-	131	54	73	94	10%/年 削減
病気やケガで休んだ日数 従業員平均 ※2	-	-	-	3.43日	3.04日	2.6日
ワークエンゲージメント 職場推奨度 ※3	-	-	4.27	3.91	4	5.1
ワークエンゲージメント ユトレヒト・ワークエンゲージメント 短縮版 ※4	-	-	-	2.51	2.54	3.42
退職者(フィジカル)の退職率	1.50%	0.04%	0.4%	0.02%	0.20%	0.1%未満
退職者(メンタル)の退職率	3.40%	0.31%	1.4%	0.08%	2.50%	1%未満
継続雇用割合(採用10年前後)	-	-	男性33.1% 女性28.6%	男性12.7% 女性30.5%	男性49.7% 女性66.7%	男性女性ともに30% 以上
ウォーキングイベント開催回数	-	-	-	3回	4回	3回以上/年
ウォーキングイベントアプリ登録数 (イベントは年3回実施)	-	-	642人	918人	1308人	5000人
度数率(製造業部門)	-	-	-	1.16	0	0

※1~4は下記の方法にて測定。
 ※1 従業員意識調査の中に設問を設置。(0~100点)
 ※2 従業員意識調査の中に設問を設置し、日数を自己申告
 ※3 従業員意識調査内のeNPS(職場推奨度)の設問を活用
 ※4 従業員意識調査の中UWES短縮版の設問を設置。(0=全くない~6いつも感じる)